

第31回
福島県児童・生徒木工工作コンクール
表彰式

◇とき 平成18年11月3日(金)
午後1時00分～

◇ところ いわき・ら・ら・ミュウ 研修室

福島県木材青壮年協会

式次第

表 彰 式

1. 開 会
2. あ い さ つ
3. 来 賓 紹 介
4. 講 評
5. 表 彰
6. 祝 辞
7. 閉 会

記 念 提 彰

出席者名簿

(敬称略)

ご来賓

| | |
|------------------------|------|
| 福島県農林水産部参事兼県産材特産グループ参事 | 荒井賢治 |
| 関東森林管理局いわき森林管理署 署長 | 山部哲経 |
| 福島民報社いわき支社 支社長 | 倉島隆 |
| 福島県木材協同組合連合会 副会長 | 小野好郎 |

ご挨拶者

| | |
|---------------|-----|
| 福島県木材青壮年協会 会長 | 草野薫 |
|---------------|-----|

ご出席者

| | | |
|------------------|--------|-------|
| 福島県知事賞 第1部 | 穴澤 快 | 穴澤 惟 |
| 〃 第2部 | 鈴木 滉大 | |
| 福島県教育委員会教育長賞 第1部 | 大関 耀 | |
| 〃 第2部 | 大門 彩華 | |
| 関東森林管理局長賞 | 若松 雅文 | |
| 福島民報社長賞 | 望月 瞳 | |
| 福島県木材協同組合連合会長賞 | 永山 朱音 | 永山 綾士 |
| NHK 福島放送局長賞 | 五十嵐 拓哉 | |
| ラジオ福島社長賞 | 水野谷 奈里 | |
| 福島テレビ社長賞 | 芳賀 祐大 | 芳賀 百香 |
| 日本木材青壮年団体連合会長賞 | 高津 尚大 | |

経過説明

審査要旨

1. 出展作品数 総数 1, 109 点
さらに、各支部の予選審査により 92 点が最終審査に出展された。
2. 審査会 平成 18 年 10 月 20 日郡山市において次の審査委員により「入賞者名簿」のとおり各賞が決定された。

(敬称略)

| | 役 職 名 | 氏 名 |
|-------|------------------------|-------|
| 審査委員長 | 福島大学助教授 | 新井 浩 |
| 審査委員 | 福島県農林水産部参事兼県産材特産グループ参事 | 荒井 賢治 |
| 〃 | 関東森林管理局福島森林管理署長 | 下堂 健次 |
| 〃 | 岩瀬郡天栄村立天栄中学校教諭 | 古川 直己 |
| 〃 | 福島民報社郡山本社総括本部長 | 浜津三千雄 |
| 〃 | 福島県木材協同組合連合会副会長 | 新田 繁 |
| 〃 | NHK 福島放送局郡山支局長 | 湯座 明彦 |
| 〃 | ラジオ福島郡山支社支社長代理 | 小野 則昭 |
| 〃 | 福島県木材青壮年協会長 | 草野 薫 |

その他

3. 全国コンクールへの参加
上位入賞作品については、平成 19 年 3 月開催の全国コンクールに出展し、全国入賞した作品については 6 月 9 日福岡で開催される日本木材青壮年団体連合会全国会員大会において表彰される。
4. 作品の展示及び展示期間
 - (1) 平成 18 年 10 月 21 日 (土) ~ 22 日 (日)
於：福島県林業研究センター (林業祭「ふくしま木材フェア」会場)
 - (2) 平成 18 年 10 月 23 日 (月) ~ 11 月 3 日 (金)
於：いわき・ら・ら・ミュウ

＜鳥の親子＞は、木の皮を丁寧に張り合わせた作品です。量感があり、動きのある構成が力強く感じました。また親鳥の頭部がしっかりと作られていることも好感が持てました。

＜ハウスポスト＞は、全体ががっしりとまとまった、まじめな造形で作られていました。部分をよく見てみると適材適所に素材を選び出し、丁寧に組み上げていました。作者の造形の確かさが伺えました。

＜森の掲示板＞は、紙のようにスライスした木材の使い方に工夫が見られました。木の質感を活かし、また作品としての密度が高く好感が持てました。

＜いそべの生き物＞は、カニやヤドカリを丁寧な観察によって表現した作品です。作者がそれぞれの生き物を見た時の新鮮な感動がそのまま出ていると感じました。

＜きょだいワニくん＞は木の皮の質感をうまく活かした作品です。木の皮を見てワニを連想する独創性に驚かされ、作者の感受性の高さを感じました。

＜森のポスト＞は板をうまく見立てた作品です。全体に堂々とした形に対して蝶でアクセントを加えバランスを取っていました。

＜子犬＞は流木を見立てた作品です。単純な見立てではなく、胴体や足や耳が生きているように感じ、全体が響きあっているところがすばらしいと思いました。

受賞作品の講評は以上です。

この展覧会で作品をじっくりと見ると、多くの作品が独創的な考え方で作られていることがわかんと思います。

皆さんも来年に向けて自分の造りたいものをさらに熱中して造って欲しいと思います。その中からたくさんのアイデアが生まれて、もっと作ることが面白くなります。そして最後には、自分でもびっくりするような作品が生まれてきます。

人が感動を覚えるのは、三通りあります。何かを発見したとき、何かを成し遂げたとき、そしてすばらしい何かと出会った時です。

作品を造り、コンクールに出品することで、この三つの感動に出会えることはすばらしいことです。来年も皆さんの作品と出会えることをとても楽しみにしています。

多くの力作を持って来てほしいと思います。

以上

☆☆第31回福島県児童・生徒木工工作コンクール入賞作品☆☆

(敬称略)

最優秀賞



「木きん館」

いわき市立中央台東小学校
4年 穴澤 快・4年 穴澤 惟

福島県知事賞



「足木の自転車」

いわき市立小名浜東小学校
6年 鈴木 滉大

優秀賞

福島県教育委員会教育長賞



「ティラノザウルス」
郡山市立行健小学校
1年 大関 燿



「あじさいとカタツムリ」
いわき市立小名浜第一小学校
5年 大門 彩華

関東森林管理局長賞



「ぼくらの太陽系」
いわき市立小名浜西小学校
3年 若松 雅文

福島民権社長賞



「へびの親子と森の仲間たち」
いわき市立小名浜東小学校
3年 望月 瞳

福島県木材協同組合連合会長賞



「鳥の親子」
いわき市立勿来第二小学校
6年 永山 朱音
3年 永山 綾士

NHK福島放送局長賞



「ハウスポスト」
いわき市立好間第四小学校
5年 五十嵐 拓哉

ラジオ福島社長賞



「森の掲示板」
いわき市立久之浜第二小学校
4年 水野谷 奈里

福島テレビ社長賞



「いそべの生き物」
いわき市立草野小学校絹谷分校
4年 芳賀 祐大
1年 芳賀 百香

日本木材育壮年団体連合会長賞



「きよだいわにくん」
いわき市立小名浜東小学校
2年 高津 尚大

福島県木材育壮年協会会長賞



「森のポスト」
郡山市立日和田小学校
3年 石田 ひかり



「子犬」
福島市立野田小学校
6年 須田 美奈子

